



第2回教職員セミナー「ねえ聞いてっしゃ」開催報告②

NO.45からの続きです。



■ 質疑応答と交流

質疑応答では、昨今のテトル・オンデマンド配信への対応や、家庭訪問の難しさについて質問が寄せられました。保護者に本当に情報が届いているのか不安を抱くことも多く、「地域・個別対応を組み合わせ、誰一人取り残さないことが大切」と山下さんは力強く述べられました。

家庭訪問が家の玄関から先に入れない場合の対応については、溝井さんから「複数で行く」「何度もしつこく訪ねる」など、信頼づくりの実践的な助言がありました。

■ 交流会:地域の文化の“肉うどん”を味わう

講演後は、山下さんから地域の文化である「肉うどん」について解説をいただき、参加者全員で3階に移動して交流会を実施。山下さん手作りの肉うどん、ぬかづけ、おにぎりをおいしく味わい、あたたかな雰囲気の中で閉会となりました。

◆ 参加者からの感想です。

○本日はありがとうございました。山下さんのお話の中で子どもの変化についてありました。携帯電話等で多くの人間と繋がっているように見えて、実は本心から繋がれている人は少なく、満たされていない、本当に愛に飢えている子どもたちが多いと私も感じています。そのような子どもたちと繋がるために、自分はどうすればよいのか悩んでもおりましたが、本日の山下さんと溝井先生のお話を聞き、「子どもは待っている」ということ「しつこくコミュニケーションをとる」ということ「自分1人で頑張りすぎず、地域と連携し、協力するということ、今日聞いたお話を参考に励んでいきたいと思います。

○子どもたちに関わる中で、様々な困り感を持っている生徒や保護者に対して今自分自身がどのようなことができているのか、あらためて考え振り返ることができました。子ども、保護者、一人一人に「寄りそうことの大切さ」子ども、保護者が何か相談したいときにうけ入れてもらえるだろうか、安心して悩みを言える環境、安心して居れる場所、人になれるように自分自身もありたいと強く感じました。本日はありがとうございました。

○今日のセミナーに来ることができて本当によかったです。私も山下さんに話を聞いてほしくて、ふらーっと児童館をたずねる1人です。”自分のことを見てくれている”という安心感は、大人の私自身もたくさん感じている所です。この安心感を子ども達に返していくようにがんばります。「自分のことを大切に」の言葉には泣きそうになりました。

○今日は貴重なお話ありがとうございました。たくさんの子供たちが、山下さんに本音を漏らす背景には、山下さんの温かい厳しさや、頑張りをきちんと認めてくださる姿勢を感じとったからだと感じました。子どもとの適切な距離感は、我々も日々悩むところではありますが、1人1人を受け入れる心を大切に、安心感を与えられる教員を目指したまた頑張ろうと思いました。

○山下さんの貴重な講演を聞いて今日もとても学びになりました。厚生員をしていると、子ども達の背景や現状を身近で知りすぎて時々自分自身がしんどくなるときもあります。そんな時は、山下さんが以前言っていた「関わった子どもとは最後まで関わる」の言葉を思い出し、また頑張ろうと励みにしています。まだまだ未熟な私ですが、これからも子どもたちのために歩んでいきましょう。どうぞよろしくお願いします。いつもありがとうございます。



NO.47につづく

わからないこと・困ったことがあつたら… 何でも気軽にお問い合わせください！



III JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1
E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

